

ほっと通信



参院議員(比例区)

浜田 昌良

台風シーズンが本格化する中、新型コロナウイルス感染症の拡大防止を考慮した「新たな防災体制」の整備が喫緊の課題です。

公明党は5月に全国県代表懇談会を開き、各都道府県本部に避難所の総点検を呼び掛けるとともに、段ボールベッドや非接触式体温計、防護具等の購入に、補正予算で措置した地方創生臨時交付金が活用できることを紹介。党を挙げて、避難所での感染防止対策を進めています。この夏の各県本部の議員研修会では、

コロナ禍での防災に全力

参加者から「感染予防のための備品購入が進んでいる」「災害時のホテルでの避難者受け入れ協定の締結ができた」などの報告がありました。

避難所の3密を避けるために分散避難をする場合、物資や情報を提供するための見守り・巡回支援が重要です。公明党の強い要請で、今年の7月豪雨から、国の予算でボランティアセンターの人件費を支援できることになりました。

引き続き、党のネットワークを最大限に生かし、防災体制強化に全力を尽くします。